

世界初 バスにおけるAI翻訳透明ディスプレイ導入(実証)を
渋谷区コミュニティバス(神宮の杜ルート)にて実施いたします

東急バス株式会社

東急バス株式会社(本社:東京都目黒区、取締役社長:古川 卓、以下、「東急バス」)は、東京都都市整備局などと連携し、2025年11月14日(金)から28日(金)までの2週間、AI翻訳透明ディスプレイを活用したバス運行実証(以下、「本実証」)を、渋谷区コミュニティバス(ハチ公バス)神宮の杜(もり)ルートにて実施いたします。

本実証は、東京都が推進する「2050東京戦略」のうち、インフラ・交通に関する戦略「まちをつくり、まもる担い手・原動力の確保」実現に向けた取り組みの一環として行われるもので、公共交通機関における多様な利用者との円滑なコミュニケーション支援および、バス運転士の負担軽減を目的としています。

なお、透明ディスプレイを介したAI翻訳システムを路線バスで活用する取り組みは世界初となります。

1. 実証の背景と目的

近年、訪日外国人観光客の増加に伴い、路線バスでも多言語対応の需要が高まっています。また、2025年11月に開催される「東京2025デフリンピック」を契機に、聴覚や言語に障がいのある方を含む、すべての人にやさしい交通環境の整備が求められています。

一方で、ワンマン運行が主流の路線バスでは、運転士が車内外の安全確保とお客さまへの接客・案内対応を同時に行う必要があり、バス運転士の担い手不足が深刻化する中で、業務負荷の軽減と円滑なコミュニケーションの両立が課題となっています。

こうした課題に対し、本実証では、TOPPAN株式会社が提供するAI翻訳透明ディスプレイ「VoiceBiz® UCDisplay®」をバスの運転席周辺に設置し、音声や文字をリアルタイムに翻訳・表示する仕組みを検証。訪日外国人や聴覚障がい者など、多様なお客さまとのコミュニケーション支援の有効性・利便性を検証しつつ、バス運転士の負担軽減や、AI翻訳透明ディスプレイ導入に向けた課題整理・検討を実施します。

※設置イメージは別紙をご参照ください。

2. 実証概要

運 行 期 間 2025年11月14日(金)～28日(金)
運 行 ルート 渋谷区コミュニティバス「ハチ公バス」神宮の杜(もり)ルート(神宮前・千駄ヶ谷ルート)
※運行区間:渋谷駅～明治神宮前駅～表参道駅～千駄ヶ谷駅～参宮橋(循環)
関係事業者 事業主体: 東京都都市整備局
協力: 渋谷区
運行事業者: 東急バス株式会社
AI翻訳透明ディスプレイ提供: TOPPAN株式会社

3. 渋谷区コミュニティバス「ハチ公バス」について

渋谷区コミュニティバス「ハチ公バス」は、高齢者や子育て世代をはじめとする地域住民の移動利便性向上を目的として、渋谷区が提供する地域公共交通サービスです。

全4ルートのうち、東急バスでは、主に渋谷区役所を起点に渋谷・恵比寿・代官山エリアを循環する「タヤけこやけルート」、および渋谷駅を起点に原宿・表参道・千駄ヶ谷・代々木を経由する「神宮の杜(もり)ルート」の2ルートの運行を受託しています。

(参考)この資料は本日、国土交通記者会、川崎記者クラブ、横浜市政記者室、横浜経済記者クラブに配布しています。

【報道機関お問い合わせ先】

東急バス株式会社 経営統括室 経営企画部(広報担当)

電話 :03-6412-0109 E-mail :somu-g@tokyubus.co.jp

(別紙)

AI翻訳透明ディスプレイ設置イメージ



透明ディスプレイ
翻訳結果を表示

音声マイク
客席・運転席側双方に設置し
翻訳のための音声を認識

タブレット
言語を選択

※写真の写り加減で着色されて見えますが、実物は透明です。

渋谷区コミュニティバス「ハチ公バス 神宮の杜(もり)ルート」車両

